

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	病態治療論Ⅲ（消化器・口腔・内分泌系） 1 単位 30 時間		
開講時期	1 年次 後期		
担当教員	倉田知幸・藤塚秀樹・稲葉直之	実務経験	有
<p><科目のねらい></p> <p>解剖生理で学んだ消化器と口腔・内分泌系の知識を臨床実践に結び付け統合し、特有の疾患を理解する。消化器と口腔・内分泌系の器官が人体のなかでどのような構造をなし、どのような役割を担うかを想起する。その後、その構造や機能が障害された状態（疾患）はどのような状態を示すのか学び、損なわれた機能の回復や失われた機能を補てんするにはどうすればよいか、治療や援助につなげる根拠を知る。</p> <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 消化器と口腔・内分泌系の主な疾患の病態診断・治療と回復の促進について理解する。 			
授業計画・内容・担当教員			
1 回目	1. 消化器系の疾患とその治療 1) 食道の疾患	講義（倉田）	
2 回目	2) 食道～胃部の疾患	講義（倉田）	
3 回目	3) 胃部～腸の疾患	講義（倉田）	
4 回目	4) 腸および腸膜疾患	講義（倉田）	
5 回目	5) 肝臓の疾患	講義（倉田）	
6 回目	6) 肝臓～胆嚢の疾患 7) 膵臓の疾患	講義（倉田）	
7 回目	2. 歯・口腔の構造と機能及び疾患とその治療 1) 症状とその病態生理 ①咀嚼障害 ②嚥下障害 2) 疾患の理解 ①歯の異常と疾患 ②口腔粘膜の	講義（藤塚）	
8 回目	3. 内分泌系の疾患とその治療 1) 視床下部－下垂体前葉系疾患 2) 視床下部－下垂体後葉系疾患	講義（稲葉）	
9 回目	3) 甲状腺疾患	講義（稲葉）	
10 回目	4) 副甲状腺疾患	講義（稲葉）	
11 回目	5) 副腎疾患	講義（稲葉）	
12 回目	6) 性腺疾患	講義（稲葉）	
13 回目	7) 多発性内分泌疾患	講義（稲葉）	
14 回目	4. 代謝性疾患 1) 糖尿病	講義（稲葉）	
15 回目	2) 脂質異常症 3) 肥満症とメタボリックシンドローム 4) 尿酸代謝異常	講義（稲葉）	
評価方法	終了試験 筆記 100%：倉田（50%） 藤塚（10%） 稲葉（40%）		
受講生に対するメッセージ	3 領域の専門医師の講義によって構成されています。その合計点をもって単位認定の判断がなされます。事前事後の学修を行って十分な理解ができるよう取り組んでください。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器 医学書院 系統別看護講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 ⑩歯科・口腔 医学書院 系統別看護講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 医学書院		
参考書			